

学校支援学生ボランティア事業について

○ 趣旨・目的

大阪市立の学校園が必要とする一定期間、大学生が教育活動を支援することによって教育の厳しさや喜びを体験し、教育研究に携わる者、教職などをめざす者としての自覚を高めるとともに、大学生と幼児・児童・生徒とのふれあいを通して、活力ある学校園づくりの一層の推進を図ることを目的としており、大阪市教育委員会と、本事業の趣旨を理解する大学との連携により実施する。

○ 対象

大阪市立の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・高等学校

○ 提携大学・短期大学

大阪教育大学・大阪市立大学・相愛大学・武庫川女子大学・同短期大学部・常磐会短期大学・大阪大谷大学・四天王寺大学・同短期大学部・佛教大学・同志社女子大学・関西外国語大学・近畿大学・立命館大学・天理大学・常磐会学園大学・京都女子大学・同短期大学部・大阪樟蔭女子大学・同短期大学部・大阪総合保育大学・畿央大学・神戸親和女子大学・京都教育退学・追手門学院大学・大阪体育大学・関西国際大学・関西短期大学

以上、28 大学・短期大学

○ ボランティア支援の内容

学生ボランティアは、各大学の特色などに応じて、原則として下の例に示すような学校園の教育活動を、担当教員の指示、助言のもとに補助する活動を行うこととなっており、各学校園は、学生ボランティアを募集する際に必要とする支援の内容を示し、学生と面談のうえ支援の内容を決定する。

〈支援の例〉

- ・ 各教科指導におけるティームティーチングの補助
 - ・ 理科実験、音楽指導、体育指導(プール指導を含む)など実技指導の補助
 - ・ 生活科、総合的な学習の時間の指導補助
 - ・ 情報教育(パソコン)やクラブ活動などの指導の補助
 - ・ 校外活動、体育的行事、学芸的行事など学校行事の補助
 - ・ 障害のある子どもの学習・学校生活の介護補助
 - ・ 幼稚園での保育活動の補助・支援
- など

なお、提携大学においては、本事業への参加を「インターンシップ制度」の一環として学生の研修(実習)の場と位置づけ、単位認定の対象としているところも多い。

(参考) 学生ボランティア 過去の活用実績

年度		校種					合計
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	
H18	活用校数	10	74	10	3	1	98校数
	のべ人数	37	183	19	7	1	247人
H19	活用校数	8	57	9	1	0	75校数
	のべ人数	42	174	27	1	0	244人
H20	活用校数	13	63	15	1	0	92校数
	のべ人数	29	156	39	2	0	226人
H21	活用校数	22	65	10	1	2	98校数
	のべ人数	50	159	26	4	4	239人

(H21.12.7現在)